

## 日本英学史学会 中国・四国支部

### 令和元年度 第2回(通算81回)研究例会(津山研究例会)のご案内

日時： 2019年12月14日(土) 12:30 受付開始  
会場： 津山洋学資料館 GENPO ホール  
岡山県津山市西新町5 TEL 0868-23-3324  
参加費： 会員、非会員とも無料

本年度第2回(通算第81回)研究例会を、12月14日(土)、津山洋学資料館(岡山県津山市西新町)にて開催いたします。開催にあたり、会員の山田宗八先生(山田共学道場)、田中美穂様(津山洋学資料館)に格別のご配慮を賜りました。篤くお礼申し上げます。

今回の研究例会では、山田先生、田中様より、地元・津山の英学史に関する研究発表をしていただきます。ぜひとも津山の地にお集まりくださいますようご案内申し上げます。

研究例会のあとには、忘年懇親会を企画いたしております。こちらの方へも多数のみなさまのご参加をお待ちしております。

開会行事(13:00~13:10) 支部長挨拶 竹中 龍範(元 香川大学)

研究発表(1)(13:10~14:00)

『英和対訳袖珍辞書』復刻に向けて—箕作貞一郎との関わりを中心に—

山田 克惟(宗八)(山田共学道場)

1853年7月突然マーシュ・ペリーが浦賀に来航したとき、堀達之助は彼らに英語で“I can speak Dutch.”と話した。おそらくその言葉は“The first English words spoken by Japanese.”であった。それから9年後文久2年(1862年)、“A Pocket Dictionary of the English and Japanese Language”『英和対訳袖珍辞書』が完成する。袖珍辞書編集に協力したもののの中に、津山藩医箕作阮甫の孫、箕作貞一郎、のちの麟祥がいる。津山藩蔵書として津山に存在することの歴史的意義を探る。

研究発表(2)(14:10~15:00)

幕末から明治初年の津山における英語学習—宇田川興齋・準一の活動から—

田中 美穂(津山洋学資料館)

津山藩は、宇田川家や箕作家といった優れた洋学者を輩出したことで知られていますが、彼らの主な活躍の舞台は江戸でした。では、国元津山ではどのように洋学が受容されたのでしょうか。平沼淑郎は、明治初年の津山を「宇田川氏や箕作氏の感化で大抵の人はABCくらゐは口誦んでいた」と回想していますが、具体的な様子は殆ど分かっていません。今回の報告では、幕末に津山へ移り住んだ宇田川興齋、準一の活動から、津山における英語学習の一事例を紹介したいと思います。

閉会行事(15:00~15:10) 副支部長挨拶

津山洋学資料館 館内見学(冬季企画展「津山藩の英学事始」開催中)(閉会后~16:30)

忘年懇親会 (17:00～19:30)

会場： 銀水 (津山市北園町 22-4 TEL 0868-22-8353)

会費： 5,000 円

※当日お帰りの便は、20:05 津山駅発「快速ことぶき」(21:15 岡山駅着)が便利です。

※宿泊をご希望の方は、ご自身で予約してくださいませようお願いします。

## 交通のご案内

(津山洋学資料館 HP <http://www.tsuyama-yougaku.jp/>より)

〒708-0833 岡山県 津山市 西新町5番地  
(箕作阮甫旧宅の東隣)

[TEL] 0868-23-3324 [FAX] 0868-23-9864

### 交通案内

- ◆バス JR 津山線津山駅より  
東循環ごんごバス南廻り線で10分、  
西新町バス停下車徒歩2分
- ◆中国自動車道 津山ICから車で15分  
院庄ICから車で20分



(地図は Google マップより)

## 津山研究例会 参加申し込みについて

例会、懇親会に出席を予定されている方は、12月9日(月)までに、電子メールにてご連絡ください。  
どうぞよろしくお願いいたします。

事務局メールアドレス： [eigaku@tom.edisc.jp](mailto:eigaku@tom.edisc.jp)